

からだ 向き合う



うえだ あつし
上田 篤志さん

笠間市立病院 内科医師
「初めまして。筑波大学附属病院の総合診療科に所属していて、当院では外来、入院、訪問診療、学校検診など地域の健康に関わらせて頂いています。」

長く家で過ごしてもらいたい

病院で亡くなる方が70%

その昔1950年代まで日本では自宅
で亡くなる方が大半で、全体の80%以上
を占めていました。その後、医療の発達
もあり病院で亡くなる方が急増し現在で
は病院で亡くなる方が70%以上、自宅は
わずか10%程度となりました。

厚生労働省の調査では、自宅療養を希
望する方は全体の60%以上を占めます
が、残念ながら病院や施設で過ごさざる
を得ない方が多くいる現状があります。
その原因としては訪問診療や介護サービ
スの確保が困難な地域があることや家族
の介護負担が挙げられます。しかしこれ
らの原因は医療機関や行政機関で相談
頂くことである程度サポートを得られる
ことが多く、引き続き(時に最期まで)
お家に居られるケースもあります。

訪問診療で在宅療養を支えたい

訪問診療では様々な理由で通院が困難
になった患者さんを対象としています。
がん終末期の患者さんは全体の10%以下
で残りの90%以上は外来への移動が難し
くなった高齢者や神経難病患者、重症の
小児といった慢性期の患者さんです。

また他の訪問介護サービスやデイサー
ビス・ショートステイなどの施設サービ
スを上手に使うことで、自宅で生活しな
がら外部との繋がりを持ち、家族の介護
負担を軽減することもできます。

笠間市立病院でも通院が困難になった
患者さんのお宅に訪問し診察させて頂い
ています。月に1回ないし2回の定期訪
問の他、臨時往診、24時間の電話対応、
体調を崩された時の入院対応も行ってい
ます。今後も切れ目のない診療で皆さん
の在宅療養を支えていけるよう努めてい
きます。

【問い合わせ】市立病院

TEL 0296-771-0034


老後を考える

6月に大きな話題となった「老後に2000万円必要？」
その是非はともかく、ご自身の老後に不安を感じた方も多かったです。老後資金への対策として「できるだけ長く働くこと」と言われていますが、それ以外に出来ること、皆さん何かしていますか？
保険では、保障を得ながら積立や資産運用のできる商品もございます。
将来への備え・家計の見直し…できることから始めてみましょう。

「やさしい保険プラザ友部スクエア店」では **今できる事、一緒に考えてみませんか。**
生命保険会社24社の取扱いがございます。

 **やさしい保険プラザ** 友部スクエア店

笠間市住吉1364-1 (伊勢甚友部スクエア内)

 **0120-650-121**